



2015年シーズンはスローガン「真直」を掲げ、真摯に愚直に慶應らしさを十分に発揮することが出来た年であったといえるだろう。タレント揃いの4年生を中心にシーズンを通して全員で戦い、インカレでは東海大学を相手に勝利こそ掴めなかったものの、最後までボールを追い続け戦い抜き、まさに「真直」を体現することが出来た試合となった。

現在、慶早戦通算成績は36勝37敗。今年で勝ち数を並べたい慶應だが、宿敵早稲田は昨年一部復帰を果たし完全に勢いづいている。加えて、慶應は多くのタレントが抜けてしまったこともあり、間違いなく厳しい戦いになるだろう。だが、慶應らしさを前面に出し、全員で同じ方向を向いて勝利を目指せば間違いなく勝利が出来る。

今年のチームはスローガン「一心」を掲げ、心一つに勝利を目指す。スタイルは「モビリティ」。磨き上げられた機動力で早稲田布陣を破壊する。

求めるのは勝利のみ。三連覇を目指し、全てを懸けてコートに勝利を掴みに行こう。陸の王者としての意地を見せつけるべく、全員の力で勝利をもぎ取る。

また、昨年6月の慶早戦では、前半は早稲田にリードを許し、厳しい戦いとなったが、死闘を制し2年連続の慶早戦優勝を果たし、陸の王者完全復活を遂げた。3000人以上の人々が集う代々木体育館を慶應の歓喜で染め上げ、最高の喜びを味わった。2年連続で勝利を手にした彼らは、今年もこの喜びを味わわずにはられないだろう。

今年のチームはスローガン「一心」を掲げ、心一つに勝利を目指す。スタイルは「モビリティ」。磨き上げられた機動力で早稲田布陣を破壊する。

求めるのは勝利のみ。三連覇を目指し、全てを懸けてコートに勝利を掴みに行こう。陸の王者としての意地を見せつけるべく、全員の力で勝利をもぎ取る。

求めるのは勝利のみ。三連覇を目指し、全てを懸けてコートに勝利を掴みに行こう。陸の王者としての意地を見せつけるべく、全員の力で勝利をもぎ取る。

## 集大成

今年の慶早戦、勝利のキーマンとなるのはやはり4年生だろう。4年目であり最後の慶早戦、誰よりも思いが強い彼らが慶應を勝利に導いてくれるに違いない。そんな彼らの紹介をする。

もはや慶應の名物となった「スプラッシュシュプラーズ」の彼らから紹介しよう。まずは本塾の主将、西戸良

のエンペラー、GTOこと後藤 宏太(No5)だ。チームNo.1のシュート力を誇る彼のスリーポイントもさることながら、相手に無を言わせない絶対的な支配力でゲームをコントロールする。

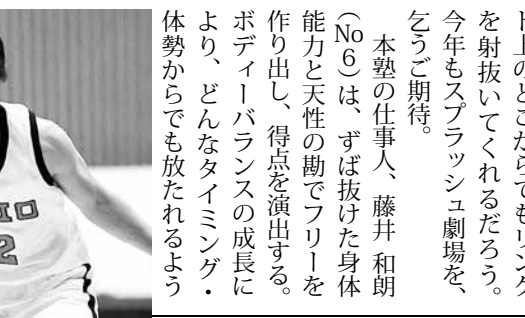
今までも幾度となくネットを揺らしてきたスプラッシュシュプラーズの二人だが、今年さらなる努力から取得した9mシュートで、コート上のどこからでもリングを射抜いてくれるだろう。今年もスプラッシュ劇場を、乞うご期待。

本塾の仕事を、藤井和朗(No6)は、ずば抜けた身体能力と天性の勘でフリーを作り出し、得点を演出する。ポディーバランスの成長により、どんなタイミング、体勢からでも放たれるように

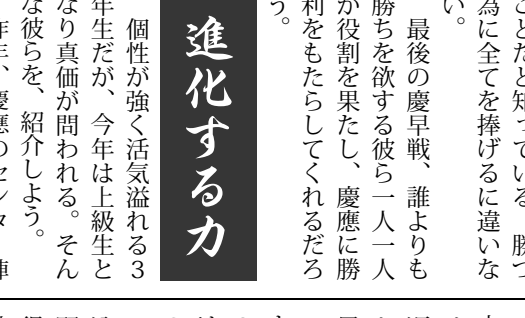
次に、試合には出場しないながらも勝利の為に欠かせない、チームを支える影の立役者スタッフ陣を紹介しよう。

まずは、その熱さと指導力から本塾のジョン・ウツデンと呼び声高い学生コーチ、丸岩 伴彬だ。常にチームの事を考えている彼の熱さは、チームと彼女を天秤に掛けた結果チームを優先してしまう程だ。別れた彼女の為に勝ちを渴望している。当日は、代々木体育館に彼の声が響き渡ること

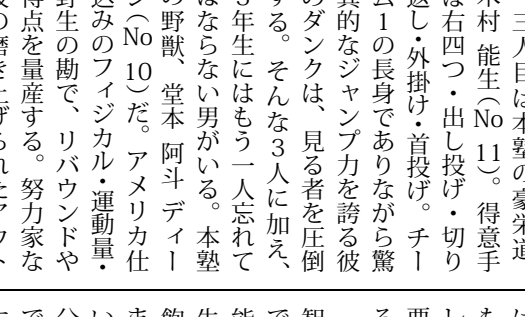
最後に4月より仲間に加わったばかりの本塾の新星を紹介する。中学・高校共に全国優勝を経験しているスーパースター、山崎純(No2)だ。多くのタイトルを引っさげて慶應義塾の門を叩いた。数々のステージで培った経験によるクレバーなプレーでアシストを量産する彼は新世代の本塾のウィザードとして即戦力になるだろう。他にも徳島城東出身の高田 淳貴(No20)や洛南出身の金子翔(No19)など、多くのルーキーが新たな風を吹き込む。



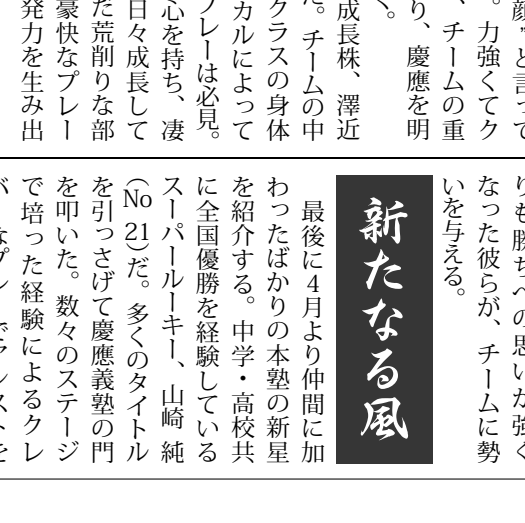
4 西戸良 主将 4年



5 後藤 宏太 副将 4年



22 トカチヨフサワ 3年



9 鳥羽陽介 2年

## 進化する力

個性が強く活気溢れる3年生だが、今年は上級生となり真価が問われる。そんな彼らを、紹介しよう。

最後に、付属校コーチの得点力に加え、本塾の部費を費やして行ったアメリカ武者修行プロジェクトにより体重増量に成功し圧倒的フィジカル、驚異の英会話力を手に入れた彼の活躍に期待。

次に、試合には出場しないながらも勝利の為に欠かせない、チームを支える影の立役者スタッフ陣を紹介しよう。

まずは、その熱さと指導力から本塾のジョン・ウツデンと呼び声高い学生コーチ、丸岩 伴彬だ。常にチームの事を考えている彼の熱さは、チームと彼女を天秤に掛けた結果チームを優先してしまう程だ。別れた彼女の為に勝ちを渴望している。当日は、代々木体育館に彼の声が響き渡ること

## 未来を担う戦力

昨年は、ルーキーとしてチームを活気付けた本塾の次世代を担う2年生を紹介する。

まずは、本塾の明日への希望、鳥羽陽介(No9)だ。昨年の慶早戦で、1年生とは思えない活躍を見せたのは記憶に新しい。関東大学1部リーグで1年間の経験を積み更なる力を付け、もはや「慶應の顔」と言ってもいいだろう。力強くクレバーな彼は、チームの重要な戦力となり、慶應を明るく未来へ導く。

## 新たななる風

最後に4月より仲間に加わったばかりの本塾の新星を紹介する。中学・高校共に全国優勝を経験しているスーパースター、山崎純(No2)だ。多くのタイトルを引っさげて慶應義塾の門を叩いた。数々のステージで培った経験によるクレバーなプレーでアシストを量産する彼は新世代の本塾のウィザードとして即戦力になるだろう。他にも徳島城東出身の高田 淳貴(No20)や洛南出身の金子翔(No19)など、多くのルーキーが新たな風を吹き込む。

全員バスケットで、代々木で今年も「丘の上」！陸の王者のプライドを見せつける！絶対に負けられない戦いがここにある！